

高浜市議会だより

びいぶる

マシンスタジオで

い・き・い・き!!

いきいき広場2階のマシンスタジオは、高浜市が平成8年に開設し、現在、たかはまスポーツクラブが運営しています。

近年は、地域の皆さんの健康づくりや認知症予防を目的に、「エアロビクス」、「リズム体操」、「コグニサイズ※」の3教室も開催されています。ご高齢の方を始め、多くの皆さんが参加しています。また、ご高齢の方の健康維持・増進のために、コグニサイズ理論や技術を習得したスタッフが、コグニバイクなどを活用し、介護予防や認知症予防にも力を注いでいます。

初心者には、スタッフが目的や体力に合った器具を選択し、使用方法やトレーニング方法を指導しています。毎時00分と30分の定時に、15分程度のストレッチ体操も実施しています。どなたでも気軽に参加できることから、大変好評です。有酸素運動や筋トレを目的とした、若者向けのマシンも揃っています。ぜひ、ご利用ください。

※「コグニサイズ」とは、頭と身体を同時に動かすことで、認知症予防に効果があるといわれています。

※運動着、屋内用運動靴、タオル、熱中症予防の飲料、1回につき300円（4月から310円）の利用料が必要です。



写真は平日の午前、多くの方が健康維持・増進のために訪れています。

contents
目次

- P2～7…… 12月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P6～11…… 市政のここが聞きたい（一般質問）
- P12～13…… 議会報告会を開催しました、議会中継の視聴状況
- P14…… 議会中継のご案内、3月定例会傍聴のご案内（日程）

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <https://www.city.takahama.lg.jp/site/gikai/>

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度			会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会											
種類番号	件名	議案等の主な内容	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈		
12月定例会(会期：11月28日～12月18日・21日間) 議案等			結果	○=承認、賛成、採択 ●=不承認、反対、不採択 △=趣旨採択 退=退席																	
承第2号	専決処分の承認を求めることについて	令和元年度高浜市一般会計補正予算(第4回)について、高浜小学校等整備事業第2期工事において地中埋設物出現に伴う費用増に係る補正予算を専決処分したので、これを承認した。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮第2号	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員の加藤美枝子氏が令和2年3月31日で任期満了となるので、再度推薦する。(任期3年)	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第77号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	近年の物価変動等を総合的に考慮し、使用料及び手数料を改定する。南部ふれあいプラザ談話室1時間220円他。	<p>問 公共施設の自販機の設置台数は。 答 18台。 問 どのような検討をしたか。 答 算定原価の明瞭性と受益者負担の公平性。 問 今回の改正で学校開放事業が載っていないか。 答 スポーツや社会教育等、公共利用は一本化して運用するため。 問 スポーツ少年団の減免は。 答 補助金で検討する等。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
議第78号	高浜市公共駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	高浜市三高駅西駐車場の1台当たりの月額定期駐車料金を改定する。	<p>反対 短期経済観測調査で業況判断指数が低下した。社会保障改悪等が日本経済低迷の元凶。暮らしを応援する政治の実現を求める。 賛成 消費税引き上げに伴い約20年ぶりに見直され、実情に合った料金体系に近づいた。一般財源が投入され、上げ幅が大きいものは上限が設定されている。税の公平性からも賛成。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第79号	高浜市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	臨時多量廃棄物、粗大ごみ及びし尿の処理手数料を改定する。	議案第78号と同趣旨の賛成・反対意見	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第80号	高浜市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部改正について	農業委員会の区域内の農地面積の減少に伴い、農地利用最適化推進委員の定数を3人から2人に変更する。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第81号	高浜市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	水道事業の経営に係る基本的事項の変更として、給水人口を従来の49,000人から52,000人に改める。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第82号	高浜市都市公園条例の一部改正について	公園施設の設置・管理に関する使用料及び興行・催しを行う場合の使用料を改定する。	議案第78号と同趣旨の賛成・反対意見	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第83号	高浜市公共下水道条例の一部改正について	愛知県排水設備工事責任技術者の登録方法の変更に伴い、下水道の指定工事店指定手数料の額を1万円に改め、責任技術者登録手数料を廃止し、新たに指定工事店更新制度を設け、下水道の指定工事店指定更新料を1件につき1万円と定める。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第84号	高浜市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	市議会議員に係る期末手当の支給割合を令和元年度12月期は100分の167.5を100分の172.5に、令和2年度6月期・12月期をそれぞれ100分の170に改定する。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第85号	高浜市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	常勤特別職の職員に係る期末手当の支給割合を令和元年度12月期は100分の167.5を100分の172.5に、令和2年度6月期・12月期をそれぞれ100分の170に改定する。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第86号	高浜市職員の給与に関する条例等の一部改正について	今年度の人事院勧告に基づき、給料表及び勤勉手当の支給割合を改定するもので、再任用職員以外の一般職職員の勤勉手当の支給割合を令和元年度12月期は100分の92.5から100分の97.5に、令和2年度6月期・12月期を、それぞれ100分の95に、また、住居手当の支給対象家賃の下限と手当の上限額を改定する等。	<p>問 会計年度任用職員及び一般職の任期付職員について、期末手当をつけることで給料月額を減らすのではという疑念が他自治体で問題になっているが。 答 それぞれの職員に係る給料表は、基本増額の改定で、加えて、先の9月議会で期末手当の支給を可決いただいており、今回は支給率をアップしている。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第87号	高浜市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、災害援護資金の償還に関する規定を整備する。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第88号	高浜市老人憩の家設置及び管理に関する条例及び高浜市コミュニティプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	老人憩の家の利用実態を考慮し、利用対象者を市内に居住する高齢者とするとともに、吉浜ふれあいプラザについて、市長の許可を受けて利用する施設に交流スペース4を加える。	<p>問 市外の人の利用実績と、全体の利用実績は。 答 市外の方の利用実績は、平成18年度以降はない。本年上半期の市内9カ所の全体利用者数が延べ10,329人、1日当たり1施設の利用者数は8.12人。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第89号	高浜市大山会館の設置及び管理に関する条例の廃止について	大山会館を廃止する。	<p>問 いつから春日町と協議し、現在、春日町が集会所として運用していきたい方向で間違いないか。 答 平成29年度から協議し、集会所として運用したいとのこと。 問 計画では、受け手なしだと取り壊しか。 答 そのとおりである。 問 地縁団体許可のない町内会と使用貸借契約を結ぶのは問題でないか。 答 認可地縁法人は建物や土地の所有が前提の制度。今事案では、法人格取得ができない。 問 賃借では、地縁団体の登録が必要と考えるが。 答 検討したが、制度としてできないので御理解願う等。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※北川広人議員は議長職のため、表決権はありません。



小嶋 克文 議員

高齢者の移動手段について

問 全国各地で高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が相次いでいる。本市における急発進を防ぐ装置の取り付け費用の支援は。

答 令和2年度から「後付急発進等抑制装置」の設置費に対する補助制度の検討を進めている。

問 近隣市の実施状況は。

答 碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、みよし市は、本年12月より実施。岡崎市、西尾市、知立市、幸田町は、令和2年度の実施に向けて検討している。

問 補助制度の内容は。

答 対象者は70歳以上、補助限度額は6万円。西三河9市1町で統一的に取組みを進めている。

防災対策について

問 ハザードマップ等の防災情報を、身近な情

報として何時でもスマートフォンで検索できるアプリ化について。

答 ワンプッシュで災害リスクや避難所などの防災情報の確認が可能。アプリ化により、若い世代にも、これまで以上に防災に関心をもっていただくきっかけにもなる。防災マップのアプリ化については、調査・研究を進めていく必要があると考えている。

問 台風などの災害から家族を守るためには、家族の避難行動を明確にするマイ・タイムライン等の作成も防災対策の一つである。本市に適した、独自のマイ・タイムラインの作成は。

答 地域防災リーダーの養成など、地域防災の推進に協働で取り組んでいるNPO法人とも連携を図りながら、マイ・タイムラインの作成に必要な、本市の実情に即した各種情報を取りまとめ、ひな形の作成等を進めていく。

※**問** 「マイ・タイムライン」とは。

各人（世帯）で、災害が起きると予想される時刻に向かって、どのタイミングで、誰が何をするか、あらかじめ防災スケジュールを決めて表などにするもので、天気予報を参考にすることができ、豪雨災害、特に台風に有効。



黒川 美克 議員

高浜市公共施設のあり方計画について

勤労青少年ホーム跡地発生土運搬処理について

問 今回の処理方法は中間処理施設で分別処理し、原料にならないものは最終処分場に出すが、再生利用可

能なものはセメント原料として焼却焼成処理するという、この答弁に変わりないか。

答 再生利用可能なものはセメント原料として焼却焼成処理を行い、処理できないものは最終処分場に出すという答弁のとおりである。

問 業者の負担金精算金額が1億6,070万4,000円、実績量が5,354.08トンで、協定書との差額が4,180万6,800円とのことだが、差額の内訳は。

答 この件は、住民監査請求の中で協定書と負担金の中身について、今、調査中ですので、答弁は差し控える。

問 最終的な掘削土量と、中間処理した数量と、

最終処分場へ処理した数量はどれだけか。

答 先ほども答弁したが、住民監査請求のこともあり、答弁は差し控える。

問 中間処理場へどれだけ持っていったか、最終処分場へどれだけ持っていったかを聞いているが、なぜ答えられないか。

答 委託分は監査請求の対象ではないので、お答えしたいと思うが、負担金部分については差し控えたい。

問 いただいたマニフェストでは、中間処理場へ搬出した数量が5,534.08トンという数字が載っているが、この数字で間違いはないか。

答 資料で出した数字という点では、そのとおりである。

問 中間処理場への搬出数量は5,534.08トンだが、業者がテニスコートに仮置きした数量は。

答 体積は測っていない。

問 残渣が出て、全部が中間処理で使えないから、それを最終処分場へ持っていくと答えているが、確認しているのか。

答 720立米で委託したものは、二次マニフェストで確認している。負担金のものは、協定書にある内容で確認している。



今原 ゆかり 議員

女性特有のがんについて

問 15歳から39歳の若年成人を指す「AYA世代」のがん患者7万6,822人のうち、女性が75.9%を占めている。年代別にみると19歳以下の女性が5割。20～24歳で6割を超え、25歳以降は8割前後となっている。

本市における乳がん検診及び子宮頸がん検診の受診率と今後の対策は。

答 乳がん検診の受診率は22.1%、受診者数は約1,400人。子宮頸がん検診は14.5%、受診者数は約1,200人。国が目指す受診率50%と比較すると、下回っている。検診を受けるときの心理的な負担もあるが、今後は案内文も見直し、啓発に努めていく。

問 医療の進歩でがんの生存率は改善し、仕事をしながら通院治療をする方は増えている。自分らしい生活の質を保ちながら過ごす支援として、アピアランスケアの重要性は高まっている。がん患者の方の身体的、精神的な負担や社会生

活上の不安を和らげるための医療用ウィッグ購入費用の助成について、当局の見解は。

答 アピアランスケア支援については、必要とされている方の現状把握から進めていきたい。臨床心理士や保健師による相談支援を行い、がん相談センターと連携して寄り添う支援をしていく。

糖尿病性腎症重症化予防について

問 高齢化が進む中で、生活習慣と社会環境の変化に伴う糖尿病患者数の増加が課題となっている。平成30年3月に第2期高浜市国民健康保険データヘルス計画を策定しているが、糖尿病性腎症重症化予防の取り組みは。

答 特定健診受診者のうち、糖尿病に該当する方の腎臓機能を4つにレベル分けし、治療が必要な方と治療を中断している方に受診勧奨を行っている。加えて、市に請求される診療報酬や治療情報から、治療や専門的な保健指導が必要な方にも受診勧奨を実施。また、保健師が家庭訪問を行い、直接本人と面談している。平成30年度の受診勧奨対象者は8人で、受診勧奨後に受診につながった方は3人となっている。



杉浦 辰夫 議員

令和2年度予算編成に向けた市政クラブの政策提言より

問 将来の都市計画の改定と、計画の内容は。

答 今回の改定は、学識経験者を有する者等による「都市計画マスタープラン策定委員会」と、市内の「策

定部会」で調整し、令和3年度を目標に進める。都市施設の将来像と「公共施設総合管理計画」との整合を図り、都市計画の方針を検討予定。

問 公園の整備状況と、今後の整備については。

答 後世山公園の遊具の再配置として、複合遊具を整備。遊具の点検は、損傷が激しく倒壊の恐れのある施設は、随時使用禁止や撤去の措置を行う。

問 防災力を高めるための対策は。

答 「防災ネットきずこう会」の新たな取り組みとして、「みんなで考える避難所づくり」の検討会を本年度は吉浜小学校で実施し、他学区は次年度以降に順に予定。

問 新たな災害リスク別専用メールの内容は。

答 浸水実績を踏まえ、八幡町及び屋敷町の名鉄三河線沿線の地域を対象に構築予定。

問 新たな防災マップの構成は。

答 「矢作川・稗田川洪水」、「土砂災害」、「津波」、「震度分布」、「液状化」で、災害リスクごとに異なる指定緊急避難場所を明記し、表紙に備えたポケットの中に個別保管できる構成。

問 防犯・交通安全対策の新たな取り組みは。

答 令和2年度から高齢ドライバーを対象に、「後付急発進等抑制装置」の設置費に対する補助制度の検討を進める。市民には、広報たかほま、高浜市公式ホームページ、高齢者が集まるイベントでの周知を行う。

問 これからの空き家対策の予定は。

答 昨年度末に「高浜市空家等対策計画」が策定された。令和2年度は、空き家等の除却の促進として、「仮称・空家等の管理条例」の制定を、9月議会への上程を目途に予定している。空き家等の除却に対しての補助金については、「協議会」で協議予定。





荒川 義孝 議員

令和2年度予算編成に向けた市政クラブの政策提言より

問 スポーツ振興について、本市としての理念は。

答 スポーツ等の機会創出や市民交流の場の充実、培ってきた知識・経験・技能を指導や普及推進等、他者

や地域のために発揮していただけるよう取り組んでいる。

問 スポーツによる地域活性化や、子どもの競技力向上などへの連携といった新たな取組みは。

答 本年8月、プロバスケットボールチームのシーホース三河と連携協定を締結し、観光・物産や、伝統文化・産業、人といった地域資源と、プロスポーツ興行というマーケットや発信力、スポーツによって夢を与える力という強味を活かし、互いの持続的な発展を目指している。

問 スポーツ活動に参加できるきっかけづくりと、スポーツ人口拡大についての取組みは。

答 一例とし、スポーツ推進委員を主体にニュー

ースポーツ体験会などを企画・実施している。

問 ジュニアアスリートの発掘・育成についての考えは。

答 スポーツ好きな子ども増のため、スポーツとの出会いの場を提供し、夢と感動を共有できるプログラムの企画・実施に重点を置いている。

問 オリンピック・パラリンピック開催機運の向上につながる取組みは。

答 本市出身の選手が出場するようであれば、市民一丸となって応援していく機会を検討する。

問 障がい者の一般就労への取組みは。

答 就労支援員を中心に面談や面接へ同行し、事業所の開拓等で一般就労につなげ、定着支援にも取り組んでいる。

問 農福連携の取組みについての考えは。

答 モデルケースも始まり、受け入れていただける市内農家の発掘と、障がい者が職場に適応するための農業者との橋渡しや助言を行う「農業版ジョブコーチ」の育成に取り組んでいく。

問 障がい者の住まいについての取組みは。

答 最近、新たに施設を2カ所開所した。相談、体験の機会、緊急時の対応などの機能を備えた地域生活支援拠点の整備も進めている。



倉田 利奈 議員

環境行政について

問 ごみの立ち当番が原因で町内会を辞めるため、町内会加入率も、今は56.3%と下がっている。また、ごみの立ち当番が、社会情勢の変化により、継続することが困難となっている。立ち当番の改善策は。

答 世帯構成や町内会の加入率の低下で、負担が増えていることは認識している。さまざまな方法について、検討を重ねていきたい。

問 町内会が立ち当番をやらないと決めた場合、市が責任をもつのか。

答 分別ができた上で、町内会から申し出があった場合については、市が責任をもって行う。

問 可燃ごみ1人あたりの年間排出量が、高浜市155kgに対し、碧南市は162kgで、同じ焼却炉を使っている碧南市のほうが、多くごみを燃やしている。まず、碧南市にごみの減量化の協力を求めるべきではないか。

答 碧南市に申し入れはしていない。各市それ

ぞれが、減量化を進めるものと認識している。

問 クリーンセンターの維持・管理費等の経費は、人口割で負担しているのが、高浜市民のほうが、費用負担が大きいのではないか。

答 費用については、碧南市と協議しながら決めていくものなので、ごみの量の推移を確認しながら検討する。

問 高浜市は、可燃ごみの個人年間排出量が碧海5市で一番少ないが、今年7月からごみ袋の無料配布がなくなり、ごみ袋の購入金額も変更された。年間103回ごみを出す場合、碧海5市の1世帯あたりの購入負担額は。

答 2～4人世帯の年間ごみ袋の費用は、刈谷市1,030円・安城市1,030円・碧南市135円・知立市1,339円・高浜市2,060円。

問 高浜市民の負担が大きいのが、どう考えるか。

答 弥富市・津島市・愛西市が高浜市と同程度の価格・ごみ袋の大きさで、それを参考とした。

公共施設について

問 公共施設複合化の財政効果は。

答 金額を示すことで誤解を与えないため、客観的な数字である面積でお答えしている。



神谷 直子 議員

令和2年度予算編成に向けた市政クラブの政策提言より

問 母子電子手帳の導入について。

答 従来の紙の母子手帳に加え、スマホアプリで一人ずつの身長・体重等の記録を残せ、その子にあった成長

曲線が見られる。メリットは、多言語対応や新しく追加された予防接種情報等が追加される。予防接種のスケジュール管理等もできる。

問 学校の健診情報もアプリ利用できるか。

答 健診情報をデータ化し、保護者の方が見られる。今後は、生活習慣病の予防などにも活用できるように進めていく。

問 ロタは、5歳までの子がほぼ感染するウイルス性の病気で、嘔吐や下痢の症状が出る。そのロタウイルスの定期予防接種が始まるそうだが、対象の子とスケジュールは。

答 今までの任意が公費になり、その開始時期が令和2年10月1日。対象者は令和2年8月生ま

れ以降を予定。接種の始めは、ヒブ、肺炎球菌ワクチンと同時期の生後2カ月が設定され、生後14週6日までに接種完了するもの。

問 県の手話言語条例の内容について。

答 市町村は県の協力主体に位置づけられ、児童・生徒等に手話言語の学習機会を用意すること、教職員には障がいの特性に応じた知識や技能の向上を図る研修の確保、行政には障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の啓発と意思疎通を支援する人、支援者の養成を求めている。

問 現在の高浜市の取組みは。

答 手話奉仕員養成講座と、碧南市との手話奉仕員ステップアップ講座を実施。学校行事や病院受診時に手話通訳が必要なら手話通訳者を派遣。毎金曜日の午前、いきいき広場内に手話通訳者を配置し、各種相談に対応している。

問 点字ブロックの拡張予定は。

答 現在は三河高浜駅周辺に点字ブロックが整備されているが、南北方向道路が脆弱である。利便性等を考慮しながら設計業務を進め、整備を進めていく予定。



柳沢 英希 議員

自衛隊活動への理解と協力について

問 大規模災害時に災害派遣で、人命救助や生活支援活動を行っているのが自衛隊である。高浜市は、自衛隊の活動をどう認識しているか。

答 国防や災害救助で、国民の生命と財産を守る非常に重要な任務を担っていただいている。防災訓練への協力など、将来、発生が予想される巨大地震や風水害への対応にも自衛隊の協力は必要不可欠であり、関係は強化していくべき。

問 自衛官募集事務は法定受託事務であるが、高浜市の取組み状況はどのようなものか。

答 広報への募集記事の掲載、募集ポスターの庁舎内掲示、自衛官募集懸垂幕を庁舎壁面に設置、FMラジオを通じた宣伝、町内会・行政連絡会での広報官・募集相談員による採用案内やイベント情報の説明機会提供を始め、入隊する隊員の激励会を自衛隊関係者と合同開催し、保

護者の招待、会議室の提供などを行っている。

問 防衛大臣から市長宛に届く、「自衛官募集等の推進について（依頼）」については。

答 文書には自衛官に関する事項として、①入隊予定者激励会の開催、②自衛官募集対象者の電子媒体、紙媒体での情報提供、③若年定年退職自衛官の防災関係部門での採用などの協力依頼が書かれている。②については、高浜市では住民基本台帳の写しの一部（氏名、生年月日、性別、住所）の全件閲覧（全ての登録者の閲覧）対応である。

問 愛知県内の自治体の状況と、近隣県の自治体の状況。また、対象者の抽出閲覧はしっかりと考えていくべきでは。

答 愛知県内では、電子媒体、紙媒体での情報提供が2自治体、抽出閲覧が28自治体、本市と同じ全件閲覧が24自治体の44.4%である。

しかし、近隣県の全件閲覧の自治体は、岐阜県内では4自治体の9.5%、三重県内では0%である。このような状況及び自衛隊への理解と協力、自衛官募集にかかる市町村の連携・協力を鑑み、抽出閲覧による方法を担当部署とも調整しながら検討を進めていく。

●●●● 議会報告会を開催しました ●●●●

令和元年11月24日（日）に、市役所の会議棟で「常任委員会の行政視察」をテーマに、議会報告会を開催しました。

行政視察は、各種政策などの先進地に、その取り組みや成果などを見聞きしに行くものです。ネット社会で、何でもネット検索する時代ですが、視察先の行政規模や土地柄、風土、考え方など、行って見聞きしないと分からないことも多々あります。議員の資質向上に努め、高浜市に合う・合わない、をしっかりと見極め、議会での質疑や行政当局への働きかけなど、今後の議員活動に活かしていきたいと考えています。

今回の報告会でいただいたご意見等を参考に、今後も議会改革に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。



■質疑・応答で出された市議会に対するご質問

議会報告会当日、参加された皆さんから発言のあったご質問と回答です。

問 現在の議員定数16名について、削減の検討はしているのか。

答 議会改革特別委員会で、議員定数の見直しというテーマで検討を始めている。議会での運営面を考慮しながら、できるだけ早い段階で結論を出したいと思っている。

問 議会報告会と議会広聴会はどう違うのか。毎回、参加者が少ない（議員のほうが多い）。もっと、人数集めに工夫をすべきでないか。

答 報告会は行ってきたことの報告で、広聴会は皆さんのご意見を広くお聴きするもの。今回は、初の試みとして常任委員会の視察報告会とさせていただいた。また、議会の出前説明会なども検討している。皆様のご意見等を伺った上で、今後も検討していきたい。

問 視察の目的がはっきりしない。行先、

目的がはっきりしているのか。

答 常任委員会の中で、委員の希望や受け入れ先の都合を勘案して決定している。移動にはお金もかかるため、行程等も考慮している。

問 公共施設あり方検討特別委員会がなぜ廃止されたのか。

答 特別委員会の廃止については反対意見もあったが、廃止理由は、各公共施設の利用方法等の各論となっているからで、各常任委員会に付託することで十分に議論できると判断した。計画変更等は、全員協議会で議論していく。

※ ここに掲載できなかったアンケート用紙でのご意見・ご質問などは、高浜市議会のホームページに掲載しております。

掲載にあたり、意味を損なわないように表現に加筆・修正を加えています。ご理解・ご了承をお願いします。

■参加された皆さん

□区分

高浜市在住	11名
未回答	1名

□年齢

40代	1名
60代	6名
70代	4名
未回答	1名

□お住いの地域

八幡町	2名
湯山町	2名
田戸町	2名
論地町	1名
青木町	1名
春日町	1名
未記入	3名

□報告会をどこで知ったか(複数回答可)

広報	4名
ホームページ	1名
議員	5名
知り合い	1名
ポスター・チラシ	3名
その他・回覧板	1名

□内容はどうか(複数回答可)

良く理解できた	0名
まあまあ理解できた	4名
分かりづらかった	5名
全く理解できなかった	1名
その他	3名

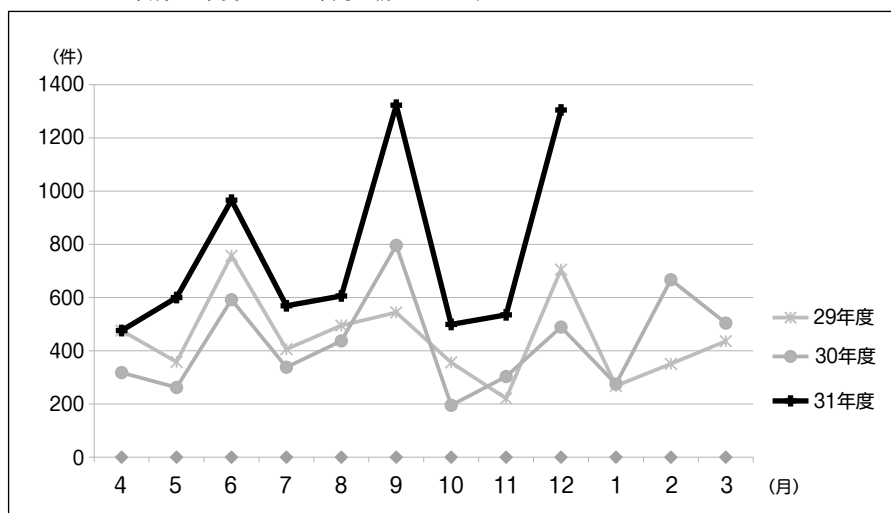
□取組みについて何が必要か(複数回答可)

市議会だよりの充実	4名
ホームページの充実	3名
報告会の開催	8名
広聴会の開催	5名
各議員活動の充実	6名

区分	月	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	4		751	319	476	318	476
	5		361	262	358	262	600
定例会	6	1,666	646	561	757	592	966
	7	429	559	321	406	338	569
	8	339	313	342	495	437	606
定例会	9	670	706	959	544	796	1,323
	10	306	253	681	356	195	499
	11	276	256	355	221	303	535
定例会	12	600	513	746	705	489	1,305
	1	311	385	398	268	275	
	2	267	368	496	351	667	
定例会	3	565	666	893	436	504	
合計		5,429	5,777	6,333	5,373	5,176	6,879
年度平均		543	481	461	485	486	487

※1人の方が2回アクセスしてきた場合は、2件のカウントになります。

※グラフは、平成29年度からの3年間を載せています。



議会中継を始めてからの視聴状況は、次のとおりです。
裏表紙に視聴の案内を載せています。
ぜひ、ご視聴ください。

議会中継の視聴状況

議場に行かなくても「本会議」の中継が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、
生中継や録画中継をごらんいただけます。

本ページ下段の「3月定例会の日程」を参考に、ぜひごらんください。

①生（ライブ）で、本会議中継（委員会を除く）の視聴ができます。

※告示日は、本会議がないので中継はありません。

②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。

③録画中継は、生中継放送後、概ね2週間後に配信を予定しています。

■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

■スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

■スマートフォン用 QRコード



※視聴は無料ですが、通信料などは、皆様のご負担になります。
※動画配信ですから、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。
※視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上、ご視聴ください。

6月議会から 中継のアドレスが 変更になります

- 新しいアドレスは次のとおりです。
- 6月定例会の初日から移行する予定です。その時期になりましたら、改めて高浜市議会のホームページでもお知らせします。
- 市役所のトップページの下のほうにある「高浜市議会」→「議会中継」をクリックし、その中からごらんになりたいものを選択いただければ、見ることができます。

■PC向けアドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/rd/council.html>

■スマートフォン向けアドレスもPC向けアドレスと同じになります。

3月定例会を 傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の、年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。ぜひ、一度傍聴にお越しください。

3月定例会の日程

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
2月27日	木	本会議 第1日目	開会、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明
3月4日	水	本会議 第2日目	一般質問
3月5日	木	本会議 第3日目	一般質問
3月9日	月	本会議 第4日目	補正予算の質疑、討論、採決、議案総括質疑、 予算特別委員会設置、議案委員会付託
3月11日	水	予算特別委員会	付託案件審査
3月12日	木	予算特別委員会	付託案件審査
3月16日	月	総務建設委員会	付託案件審査
3月17日	火	福祉文教委員会	付託案件審査
3月24日	火	本会議 第5日目	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会